



学ぼう!SDGs

～みんなで考える世界の目標～

第18回 「平和と公正をすべての人に」

16 平和と公正を
すべての人に



目標16「平和と公正をすべての人に」

～持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する～
世界では、テロや紛争、暴力などで命を落としたり、住む場所や大切な人を失っている人々がいます。日本ではなかなか実感がわかないかもしれませんが、今この瞬間も不安や恐怖におびえている人々がいるのです。「一人は万人のために、万人は一人のために」の精神で、世界平和を目指していきましょう。

わたしたちができる身近な取り組み

■現状を知ろう!

今、世界でどんなことが起きているのかを知ることは、自分にできることをを見つけるためにも大切なことです。テレビやニュースで見かけたときは調べてみたり、周りの人と話してみることで理解が深まり、みんなで目標を意識することにつながります。イベントや募金活動に参加することもわたしたちにできる身近な取り組みの一つです。

■政治に参加しよう!

近年、選挙の投票に行かない人が増加しており、特に20～30代の若い世代の割合が多いのが現状です。これからの日本の未来を生きていく世代だからこそ、選挙に行き、自分の意見を少しでも発信していくことが必要とされています。日本では18歳から選挙権があるので、積極的に政治に参加し、自分の意見を届ける機会を大切にしましょう。

JAようてい職員が考えるSDGs関連事業

JAようていの

「平和と公正をすべての人に」

- ・反社会的勢力との取引排除への取り組み
- ・コンプライアンス遵守の徹底
- ・ヒバクシャ国際署名活動の支援
- ・マネロン対策

今後取り組むべき

「平和と公正をすべての人に」

- ・ボランティア活動への参加
- ・地域のパトロール活動

参考：「1時間でよくわかるSDGsと協同組合」

「EduTownSDGsわたしたちが創る未来」

(<https://sdgs.edutown.jp/info/goals/goals-16.html>)